



住み慣れた地域で元気に暮らしていくためには、**地域の人々と顔の見える関係**を築き、**お互いに支え合う**ことが大切です。



今回は、そんな地域の集いの場における**世代間交流**について紹介します。

沢野地区 古戸町 マス掴み・流しそうめん大会



5月3日(日)古戸町長良神社(集会所)にて、スポーツ愛好会と育成会を中心とした「**マス掴み・流しそうめん大会**」が開催されました。

参加者は、小中学生50人をはじめ、**多くの地域住民**が参加しました。

マス掴みは、以前は古戸町にある刀水池で行われていましたが、数年前に池が閉鎖されたため、現在は集会所の庭にビニールプールを設置し、桐生市の黒保根村から運ってきたマス（鱈）を放流して実施しています。



マス掴みの様子



釣った魚と肉や野菜を食べながら地域交流



捕まえたマスは、その場でさばき、お肉や野菜と一緒に焼いて味わいながら、住民同士で会話を楽しむなど、**世代間交流**が図られました。

流しそうめんに使用する竹は、以前は実際の竹を切って行っていましたが、手間と時間がかかるため、現在は古戸町にある企業からプラスチック製の器具を借りて実施しています。



流しそうめんの様子

地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

運営には、スポーツ愛好会、育成会役員のほか、区長・区長代理・民生委員・わが町支援隊(ボランティア)・交通安全委員などが携わりました。



中村宏通 区長



育成会



交通安全委員

スポーツ愛好会とは？

スポーツ愛好会は結成51年目を迎え、50世帯(町内の約半数)が加入しています。年会費は3,000円、役員は11名で、今回のマス掴み・流しそうめん大会以外にも、納涼祭、餅つきなど、様々な行事で活躍しています。

わが町支援隊とは？

わが町支援隊は、地域の様々なイベントを支えるボランティア団体で、令和8年度から正式に地区役員・委員一覧表に掲載されることになりました。今後は、役職を退いたOBが活躍できる場として、地域貢献活動や、育成会のサポート役としての活躍が期待されています。



スポーツ愛好会



わが町支援隊

★参加者からお話を伺いました★



ドビー・エレック・ウィリアさんと娘のエイミちゃん(9歳)

ウィリアさんは、カナダから4年前に古戸町へ移り住みました。現在は英語教育の先生(ALT)として幼稚園や保育園、学童などで英語を教えています。「古戸町はアットホームで優しい方が多いので大好き。毎回イベントには欠かさず参加しています」と話します。



介護施設「のむら陽光園」の利用者と管理者の野村繁利さん

イベントには、地元の「のむら陽光園」の職員や利用者の方々も招待されていました。管理者の野村さんは、「毎回声を掛けていただき、とても有難い。利用者も、地域の方々とのふれあいを毎回楽しんでいます」と話します。



参加者親子

お母さんは、「地域のイベントには可能な限り参加しています。マス掴みや流しそうめんなど、子どもが普段体験できないことができて嬉しいです。地域のつながりを感じることもできて良かったです」と話します。

check

今回のマス掴み・流しそうめん大会では、子どもから高齢者まで世代を超えて交流する姿が見られ、古戸町の温かい地域性を改めて感じる事ができました。こうした行事を積み重ね、顔を合わせる機会を多く設けることで、地域のつながりが育まれ、日常の暮らしの中で支え合える関係へと発展していきます。



過去の記事はこちらから

お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208

公式インスタグラム

Follow me!

